

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 北東北の世界遺産・縄文遺跡群・ジオパーク周遊ルートを軸とした広域観光活性化計画（重点 ）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年01月26日

計画の名称	北東北の世界遺産・縄文遺跡群・ジオパーク周遊ルートを軸とした広域観光活性化計画（重点）											
計画の期間	令和04年度～令和07年度（4年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	秋田県											
計画の目標	北東北三県では、東北圏広域地方計画の広域連携プロジェクトである『9.「四季の魅力溢れる東北」を体験できる滞在交流型観光圏の創出プロジェクト』を推進するため、北東北三県の優れた地域資源である世界自然遺産白神山地やジオパーク及び新たに世界文化遺産登録となった北海道・北東北の縄文遺跡群での誘客に資する取り組みを最大限活用し、北海道・北東北の縄文遺跡群では歴史的な景観等を保存・継承し、白神山地、ジオパークにおいては自然体験等多様な体験型観光メニュー等を組み合わせた観光圏の形成を図る各種取り組みと合わせて、必要な基盤整備事業を実施することで、国内外観光客の効果的な誘客拡大と地域の活性化を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,279	A	2,279	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1		R7
1	【秋田県・青森県・岩手県 共通目標】 拠点施設を有する市町村への入込観光客数を、約6.7%増加させる。 上記圏域における、計画期間最終年の入込観光客数（延べ人数）の三県合計値を、約6.7%増加させる。	40492千人	千人	43207千人
2	【秋田県 単独目標】 秋田県の拠点施設を有する市町村への入込観光客数を、約5.7%増加させる。 上記圏域における、計画期間最終年の入込観光客数（延べ人数） 5,231千人（R1）から5,529千人（R7）に増加（298千人（5.7%）の増加）	5231千人	千人	5529千人
3	【秋田県 単独目標】 道路整備による拠点施設へのアクセス機能の強化が図られたことに伴い、各拠点間の総アクセス時間を 57時間・台/日 短縮する。 事業実施前後の総アクセス時間 [時間・台/日] を算出する。 各拠点間走行時間 × 日当たり交通量（修繕事業は除く）	14681時間・台/日	時間・台/日	14624時間・台/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域活性化事業	A11-001	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	国道	改築	(国)103号白沢 工区	現道拡幅 L=0.3km	鹿角市						15	-	
	A11-002	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	都道府 県道	修繕	(主)十二所花輪大湯線 堤尻工区	舗装補修 L=1.0km	鹿角市							100	-
	A11-003	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	国道	修繕	(国)285号小森工区	舗装補修 L=2.5km	北秋田市							80	-
	A11-004	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	国道	修繕	(国)101号落合工区	舗装補修 L=1.0km	能代市							60	-
	A11-005	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	都道府 県道	改築	(主)男鹿半島線小浜工 区	現道拡幅 L=0.2km	男鹿市							164	-
	A11-006	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	都道府 県道	修繕	(主)男鹿半島線船川港 工区	舗装補修 L=4.0km	男鹿市							240	-
	A11-007	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	都道府 県道	修繕	(主)男鹿半島線男鹿半 島工区	路面標示 L=5.0km	男鹿市							60	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域活性化事業	A11-008	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	都道府 県道	修繕	(主)入道崎寒風山線北 浦工区	舗装補修 L=3.0km	男鹿市						160	-	
	A11-009	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	国道	改築	(国)103号上日暮工区	現道拡幅 L=1.2km	鹿角市						80	-	
	A11-010	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	都道府 県道	改築	(一)西目屋二ツ井線矢 坂工区	現道拡幅 L=0.8km	藤里町						70	-	
	A11-011	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	都道府 県道	修繕	(一)西目屋二ツ井線藤 琴工区	舗装補修 L=0.2km	藤里町						20	-	
	A11-012	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	都道府 県道	改築	(主)男鹿八竜線西工区	現道拡幅 L=1.5km	大湊村						150	-	
	A11-013	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	国道	修繕	(国)101号脇本工区	道路情報板新設・更新 N=6 基	男鹿市						180	-	
	A11-014	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	都道府 県道	改築	(主)男鹿八竜線西野工 区	防雪柵新設 L=2.0km	大湊村						900	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											小計						2,279			
											合計						2,279			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	126				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	126				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	87				
翌年度繰越額 (f)	39				
うち未契約繰越額(g)	10				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	7.93				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					